

Title	特集：DMC研究センターシンポジウム：第6回 デジタル知の文化的普及と深化に向けて： デジタル知が広げる文化財の可能性
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学デジタルメディア・コンテンツ統合研究センター
Publication year	2017
Jtitle	慶應義塾大学DMC紀要 (DMC Review Keio University). Vol.4, No.1 (2017. 3) ,p.4- 4
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	特集：DMC研究センターシンポジウム：第6回 デジタル知の文化的普及と深化に向けて： デジタル知が広げる文化財の可能性
Genre	Departmental Bulletin Paper
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO32002001-00000004-0004">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO32002001-00000004-0004</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

特集

DMC 研究センターシンポジウム—第6回 デジタル知の文化的普及と深化に向けて—

## デジタル知が広げる文化財の可能性

慶應義塾大学デジタルメディア・コンテンツ統合研究センターでは、2016年11月22日(火)に「DMC 研究センターシンポジウム—第6回 デジタル知の文化的普及と深化に向けて—デジタル知が広げる文化財の可能性」を開催した。本シンポジウムより、講演、パネルディスカッションを採録する。

### 慶應義塾大学DMC研究センターシンポジウム 第6回 デジタル知の文化的普及と深化に向けて デジタル知が広げる文化財の可能性

日時：2016年11月22日(火)  
14:00 - 17:00 (研究交流会を除く)  
会場：慶應義塾大学日吉キャンパス西別館1  
参加費：無料  
申込：DMCシンポジウム参加申込フォーム  
<https://goo.gl/BQGUco>

形あるモノを主体に構成されてきた既存のアーカイブをデジタルの有用性を生かした仕組みの中で再構築するには、どのような方法が考えられるでしょうか。研究を通じて得られた知見とともに議論を交わしていきます。

挨拶 長谷山彰 (慶應義塾常任理事)  
松田隆美 (DMC研究センター所長 文学部教授)

講演 「大学博物館が広げる文化財の可能性」  
寺田鮎美 (東京大学総合研究博物館インターメディアテク研究部門)

「文化財の可能性とは? - デジタル技術への期待」  
安藤広道 (DMC研究センター研究員 文学部教授)

パネルディスカッション

「文化財の可能性を広げるデジタル知とは?」  
寺田鮎美 (東京大学総合研究博物館インターメディアテク研究部門)  
安藤広道 (DMC研究センター研究員 文学部教授)  
金子晋文 (DMC研究センター研究員 理工学部専任講師)  
石川尋代 (DMC研究センター特任講師)  
重野 寛 (DMC研究センター副所長 理工学部教授)

研究交流会

